


分野	32	人権
施策	322	男女共同参画社会の形成
5年後の目標		すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	男女共同参画啓発		会計	款	項	目		
			一般	2	1	17	160,579	男女共同参画推進課
			一般	2	1	18	906,596	女性交流支援センター
事業の概要								
男女共同参画社会の形成には、あらゆる世代の市民が、固定的性別役割分担意識や男女の不平等感を払拭し、多様な選択を可能とする学習機会を得、男女平等・男女共同参画の視点と意識を持つことが必要であるため、男女共同参画フォーラムをはじめとする各種啓発事業の充実に取り組みます。								

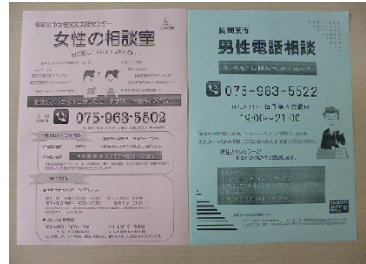
平成29年度の取組								
D (取組)	指標	審議会等における女性委員の登用率					単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	38.5(平成26年度)	目標	39.0	39.0	39.5	39.5	40.0	
		実績	36.6	34.8				
	指標	男女共同参画フォーラムで「男女共同参画意識が深まった」と回答した人の割合					単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
66.3(平成26年度)	目標	70.0	75.0	80.0	80.0	80.0		
	実績	78.4	72.1					
<ul style="list-style-type: none"> 審議会等における女性委員の登用について、各担当課への働きかけを行いました。比率的には下がりました。 平成30年1月20日(土) 13:20~15:30 長岡京市立産業文化会館 市民を対象に、オープニングプログラムとして健康医療推進室による「がん検診啓発パフォーマンス、済生会京都府病院松田高幸さんの講演「乳がんに関するあれこれ」に続き、清水健さんの講演会「大切な人の『想い』とともに」を開催しました。 女性への暴力根絶と児童虐待防止を目的とした「パープル&オレンジリボンプロジェクト2017」を始め、市内高校への「デートDV出前授業」、商工団体等との連携による女性の起業・創業支援や子育て支援団体との共催によるシンポジウムの開催など、多角的な事業展開を図りました。 							男女共同参画フォーラム清水健さん講演会 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応員
		「地域で」、「社会全般として」男女が平等になっていると考える市民の割合<男女ごと>	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には「男女が平等になっていると考える」市民の割合は上昇していますが、平成16年度以降の上昇は鈍化傾向にあります。 「地域で」と「社会全般として」では、それぞれ男女間で平等感が差が生じています。 評価指標の市民意識調査は5年に1回実施しています。 		
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等の女性委員の割合は、34.8%となり、目標値39%には届きませんでした。 男女共同参画フォーラムの参加者は定員を上回る225人、アンケート結果から講演内容が「良かった」は86.9%となり、満足度の高い講演会となりました。市内参加者が73.9%、センター事業に初めて参加された人が80.1%を占め、センターの周知は図れましたが、男女共同参画意識の深まりについては、72.1%に留まりました。 平成29年度は計27事業を実施し、目標を上回る延べ770人の参加があり、センター事業参加者の新たな層の獲得に繋がりました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 全庁的に女性委員登用の意識は浸透してきているとは認識していますが、団体から委員を選出する場合等は、その所属団体自体の男女比率に偏重があり、女性委員の登用が進まない等の理由により、審議会等における女性委員の割合が、微減しています。 多様な市民ニーズを把握するとともに、様々な年代の市民にアプローチできる事業内容の検討と、ターゲットを明確にした情報発信が必要です。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> 審議会等の女性委員の割合を上げていくため、引き続き、担当課への働きかけを行っていきます。 男女共同参画フォーラムについては、人権という大きな括りの中で共生社会の実現に向け、広く人権・男女共同参画意識が深まる事業として実施します。 女性支援のみならず男性支援の視点も踏まえ、男女共同参画啓発事業を充実させるとともに、LGBT啓発等新たな人権課題にも取り組みます。

分野	32	人権
施策	322	男女共同参画社会の形成
5年後の目標	すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	女性の相談室事業		会計	款	項	目	1,461,210	女性交流支援センター
			一般	2	1	18		
事業の概要								
女性の様々な問題や悩みを広く受け止め、安心して相談できる体制を整備するとともに、分野横断的な情報提供や専門相談による心理的・法的支援との連携により、女性相談の充実を図ります。また、DV被害者等へのワンストップ支援については、関係機関との連携による支援体制の整備に努めます。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	女性相談のうち専門相談の実相談件数と相談実施率(実相談件数÷相談開設枠数)				単位	件・%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	181件 71.0% (平成26年度)	目標	117件 71.0%	120件 73.0%	123件 75.0%	123件 75.0%	123件 75.0%
		実績	116件 70.3%	105件 61.4%			
<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業は、常設相談窓口に拡充した「一般相談・DV相談」、専門相談の「女性のカウンセリングルーム」と「女性の法律相談」で運営しており、女性に関わる様々な問題や悩み、離婚問題、DVや家族間暴力等の相談に応じるとともに、就業や起業の相談、分野横断的な情報提供を行っています。 ・危険性・緊急性の高いケースについては、長岡京市DV対策ネットワークの関係機関と連携し、緊急一時保護を始め、同行や訪問、継続した自立支援など、DV等被害者へのワンストップ支援を行いました。また、DV相談対応体制の更なる強化を図るため、情報収集や調査・研究を進めました。 ・平成29年6月より、男性カウンセラーによる「男性電話相談」を新たに開設しました。 					相談事業チラシ 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—		—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の相談件数は「一般相談・DV相談」が680件、内DV等225件(33.1%)、専門相談の「女性のカウンセリングルーム」と「女性の法律相談」は計105件、内DV13件(12.4%)、合計785件、内DV等238件(30.3%)となり、相談件数合計は27年度の337件、28年度の673件と年々増加しています。 ・「男性電話相談」は18件。夫婦関係を始め、親子関係や職場の人間関係等、男性の様々な悩みが寄せられています。 ・専門相談の実施率は、相談開設枠数(171枠)に対する実相談件数(105件)から、61.4%に留まりました。 	
課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・「一般相談・DV相談」では、「女性の悩みの相談」として電話相談のニーズが高まっており、電話相談件数が急増しています。 ・DVや虐待のみならず、家族間暴力や生活困窮といった、家族の問題が複雑に絡み合う事案が増加しており、相談対応体制の一層の強化が求められています。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・一般相談とDV相談の差別化を図り、DV相談機能を強化するため、「DV相談専用電話」を増設します。 ・相談件数の推移や人員体制等を検証し、DV相談対応体制の強化に向け課題整理を行います。